

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	あったかハウス松元
(ユニット名)	たんぼぼ
所在地 (県・市町村名)	鹿児島県鹿児島市石谷町1211-23
記入者名 (管理者)	南文代
記入日	平成 19 年 5 月 1 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(理念) ゆっくり、ゆったり、けれども、しっかり日々のミーティングの中で常に話題にしています。	○ 今後もますます実践に向けて努力していきたい。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝の申し送り時、「理念」を職員一同で唱和し、理念に基づいたケアが成されるように努めている。	○ 個々の状態に応じ、さらに寄り添ったまごころのケアに努めたい。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族会、地域交流会を通じて、理念・方針を説明し、フロア内にさりげなく掲示されている。	○ 公民会をはじめ老人会、婦人会、子供会や学校など地域の会合への出席の機会を増やしたい。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常的に挨拶を行い、利用者の方にも声を掛けていただいたり、野菜を頂いたり、食事のお誘いをしたりして交流を図っています。	○ 利用者と地域の方が日常的に話せる機会を増やしたい。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の文化祭、小学校の体育祭への参加。ホームにて月1回の地域交流会、年1回の家族、地域交流会とを持ち交流を図っている。	○ 地域の文化祭への出品作品を増やして行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議に行政の方や地域の民生委員の方にも参加して頂き情報交換を行っている。	○	関係機関、諸団体をはじめ包括支援センター等への働きかけを行い情報を得られるように努めたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価について経営者を含め全員でその意義を理解し細部にわたり改善するように努めている。	○	認知症リーダー研修をはじめ各種の機会を通じ受けているので、施設に留まらず地域の会合へ出席等により質の高い改善に努めたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所から2ヶ月間の取り組みを報告し、民生委員、家族の方からもアドバイスや情報を頂きサービスの向上に努めています。	○	本年度から、行政(包括支援センター)の、参加も得られるとのことで、より充実した、会議が進められるようにつとめたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	鹿児島市からの介護相談の派遣にて、入居者、介護職員の相談を受けその中から、事業所が情報を頂き、サービスの質の向上に努めている。	○	包括支援センターや行政の実施する研修や説明会にもさらに多くが参加出席できるように努めたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員研修その他の研修において常に説明の機会を設けスタッフの理解と活用を促している。	○	今後においても社協や司法書士会等での研修を受ける機会を、多く職員にもちたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員研修やミーティングを通じ常に虐待とは何かについて学び、防止に努めている。	○	外部研修や関連書籍の配布等により虐待と拘束について、常に学んで生きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入退居前、個人及び家族との面談及び家族会等で十分説明を行い理解、納得して頂いており退去後のアフターケアは運営者、スタッフが携わり支援している。</p>	<p>○</p> <p>今後も退去後のフォローやご家族への連絡など支援していきたい。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者と1対1で話す機会を持ち、現在困っている事はないか聞く機会を持つようになっている。</p>	<p>○</p> <p>話を聞く機会を、毎日の生活の中でさりげなく持っていく。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の手紙による近況、金銭報告、電話による健康状態の報告、職員の異動については、面会時、機関誌にて報告している。</p>	<p>○</p> <p>個々の状況にあわせた報告を継続していきたい。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>窓口に意見箱を置き、また、責任者、第三者委員の電話番号を掲示しており伝えている。日頃から、家族会や交流会等で気軽に相談して下さる様に話している。</p>	<p>○</p> <p>コミュニケーションの輪を拡げ、電話や手紙を活用し家族との、信頼関係がより良いものになるように努めていきたい。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月、運営者と管理者は話し合いを設けその時に、職員の意見を話し、また毎月のミーティングで報告し反映させるようにしている。</p>	<p>○</p> <p>継続していきたい。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>緊急時に備えたスタッフの人員を揃え、対応できるように話し合っている。</p>	<p>○</p> <p>特別な催し物を開催するときの人員の増員、緊急時に対応できるように努めている。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>退職による人員の補充のみで、常に馴染みの職員にて支援している。</p>	<p>○</p> <p>馴染みのスタッフで支援出来るように努めている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の参加、講義を聞く機会を持ち、その中から必要と思うこと、職員の意見を聞きたいときは、時間を儲け勉強会を行っている。	○ 今後ミーティング、朝の申し送りから常に、気付をメモしミーティングで話し合って仕事に活かしていきたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に参加し情報交換を行いその結果を職員に伝達しサービスの質の向上に活かしている。	○ 地域の同業者とできるだけ多くの職員にも提供できるように努めたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	食事会や、有給休暇を取れるような職員配置をされており、相互理解の中で、昼食後リラックスできるようにしている。夜、仮眠を取る場所や寝具、暖房、冷房が配慮されている。	○ 今後も職員が安心して楽しく仕事が続けられる環境づくりに努めたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員それぞれ担当者や担当の係りを持ってもらい、個々の力を発揮してもらうようにつとめている。	○ 職員の得意とするものを見出し、仕事に発揮できるようにしていきたい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人、家族から現在までの生活、健康状態を聞き、出来るだけ自宅にいた時と変わらない生活が出来るように努めている。困難な方は、家族より情報を得ている。	○ これまでの人生経験や得意な技術がさらに日常に活かされるように努めたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族、特に現在まで一緒に暮らして来られた方より、その人らしく生活していただくための多くの情報を頂くように努めている。	○ キーパーソンだけでなく、利用者周囲からも情報を得られるように努めたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その人のニーズに応じて初期の個人及び家族の面談に、しっかり時間をかけている。	○	細かな気配り目配りをして本人の好むこと得意なことを知り、生活リハビリに活かしたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族より、利用者の性格、趣味等の情報をもらい、他の利用者、職員と馴染んでいけるように工夫し、徐々に自身の生活パターンが出来るように支援している。	○	継続していきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	レクリエーションの中に、回想を行い昔の話、歌、得意な料理、好きな献立、作り方を習う。	○	料理は、一緒に作れなくても、出来ることを見出す。味を見て頂く機会を増やしていきたい。）
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族会や敬老会等の行事、手紙や面会時電話等にて、意見交換を行い、安心して頂けるように努めている。	○	今後も継続して安心して頂けるように努めていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	毎月利用者の近況を報告すると共に面会の依頼、面会時は、本人と家族がより良い環境の中で関係が築けるように支援している。	○	今後も本人と家族がより良い関係が保てるように支援していきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族、親戚、友達、地域の方に声を掛けながら、前在の関係が継続出来るように支援している。	○	継続して支援していきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食事、お茶、レクリエーションの時間、職員が間に入り継ぐ等、係わり合いが出来る様に努めている。利用者同士で注意しあう時は仏要に応じて声掛けするように配慮している。	○	利用者同士の関わりは、良い関係が作れるように、見守り、必要に応じて声掛け等配慮していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	日常生活の一部を手伝わせていただいたり、面会に行ったりさせて頂いている。サマリーを活用し情報交換を行っている。	○	環境の変化によるダメージが、最小限に済むようにプライバシーに配慮しながら支援していきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの暮らし方の希望、意向に添った生活が出来るように努めている。困難な場合は、本人の体調に合わせた日課を、家族と共に検討し努めている。	○	思いを表出出来ない方に於てのその人らしい暮らしの支援をいっそう考えて行きたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、本人、家族より情報を頂き、ホームでの生活に組み込むようにしている。	○	その方の生活されてきた場所、墓等を今までも増して訪問し本人生活リハビリに活かしたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	本人の意向、心身の状態、残存機能を把握し、その人らしい生活を送れる様に努めている。	○	利用者の能力、状況に応じた、買い物の支援を、定期的に取り入れていける支援をしていきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人家族の意向を聞き、残存機能(出来ること、出来ないこと)を見極め、スタッフの意見を反映した計画を作成している。	○	毎日のケアチェックが、介護計画にいっそう反映できるように話し合っ行ってきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎日ケアチェックを行いながら、気づきを書きとめ、必要時、新たな計画に取り込んでいる。	○	ケアチェックを有効に利用し、気づきやその日の状況を書きとめ利用者に即したケアを作成していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアのチェック表を作成し、毎日実践、結果をチェックし気づき、個別記録に記入しながら情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	○	継続していきたい。
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の個々の能力に応じた支援を行っている。	○	継続していきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員や地域のボランティアとの交流、地域の文化祭、学校行事等へ参加させて頂いています。	○	現在行っている地域との交流を、充実させていきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在は、行っていないが、今後包括支援センターの協力を得て利用者の方の今後の地域への参加等を行っていく。	○	運営推進会議等で話し合っていきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本年度より、運営推進会議への参加が出来ると伺い、利用者の方のために何が出来るか、事業所、運営推進委員と共に話し合っている。	○	地域包括センターと協働していけたらと思う。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人家族の希望を大切に、協力病院、主治医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	○	継続して健康状態に留意しながら、適切な医療が受けられるように支援していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医へ状況報告を行いながら相談し、診察や治療を受けている。	○	継続して、相談、治療を受けながら、認知症の進行防止に努めていきたい。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	日常の健康管理や相談を行いながら支援している。	○	継続して健康管理に努め、利用者が、生きがいのある生活を送れる様に支援していきたい。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	常に医療連携を図り、異常時は早期受診、早期入院し、重症化しないように努めると共に、入院時は定期的に面会し安心して過ごせるように努めている。病院関係者との情報交換や相談は行っている。	○	継続して、入院しても利用者、家族が安心して過ごせ、出来るだけ早期に退院出来るように支援していきたい。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時や、病態変化時等に本人や家族等ならびに主治医と話し合い、方針を共有している。	○	面会時に現在の状況並びに今後予想される状況等を話し合い、本人、家族の気持ちを理解し共有できるように努めていきたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度や終末期の利用者が、日々をより良く暮らせるように、かかりつけ医と共に医療連携を図り支援に取り組んでいる。	○	グループホームでできること、出来ないことを本人家族に理解していただきながら、今後の変化に備えて検討していきたい。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族と十分な話し合いを行い、情報交換を行っている。	○	本人家族が住み替えによるダメージを防げるように継続して支援していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	○	一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重したケアに、努めていきたい。
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	現在の支援を継続すると共に、表出、自己決定の困難な方への支援を学んでいきたい。
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	○	その人のペースを大事にしてその人らしく暮らしていけるように援助していきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	○	利用者が一人ひとりの習慣、希望、能力に応じて、その場面にふさわしい服装が出来るように支援していきたい。
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	食事やおやつと一緒に作る機会を増やすようにしたい。
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	個別に気兼ねなく楽しめるように支援をしていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄のパターンを把握し[間隔、量、排尿便の兆候]、トイレ誘導を行い、気持ちよく排泄できるように支援している。便秘予防のため水分、繊維性の食品の提供をし、薬に頼らないようにしている。	○	今後も継続していき、1回でも失敗を防ぐため、個々のパターンにあわせ前誘導で支援していきたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	健康状態のチェック、精神的[本人が気乗りしない時は、無理せず時間を置いて声をかける。]状況を見ながら一人ひとりの希望に沿った時間設定して支援するように努めている。体調が悪い時は、清拭、更衣にて対処している。	○	継続して支援していきたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者一人ひとりの睡眠パターンを把握し、夜間睡眠、午睡を支援している。安易に薬剤を使用しないように努めている。	○	薬剤を使用することなく、原因を見極め、本来のリズムを取り戻せるように職員で検討し支援していきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や能力を活かした役割り、(農業をされていた方、調理に従事されていた方)楽しみごと、張り合いのある日々を過ごしていただけるように支援している。	○	本人の得意とすることをさらに見出す努力をしていきたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理が出来る方は、所持し、使えるように支援している。管理は出来ないが所持する事により安心される方には、家族と話し合い、僅かではあるが、所持していただいている。	○	買い物の機会を増やすようにしていきたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	戸外への誘導、散歩の声掛け、中庭でのお茶タイムを設ける等支援している。	○	ドライブを定期的にいける日程づくりをしていきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	公園へのドライブ、緑化センターへ花壇の花の選択を一緒に出かけたりと、出かける支援を行っている。プライバシーの場を希望されたときは、家族に依頼している。	○	アンケート調査[本人ご家族そして職員]を実施してみたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人自ら、電話をしたり、手紙のやり取りが出来るように支援している。本人へもすすめているが、手紙は困難な場合が多く、年賀、暑中見舞い等の時に、添え書きをおねがいでいる。	○	手紙のやり取りが、毎月1回の家族への近況報告の時にも入れられるように、支援していきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも、気軽に訪問していただけるように、居心地良く過ごしていただけるように努めている。	○	家族や、地域、近所の方に何時でも来てくださるよう声掛けをおこなっている。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティングの度、具体的な拘束について話し、転倒、転落のある恐れのある方に直面した場合、その都度話し合いを設け、対策を講じている。	○	今後も身体拘束とは〔身体、言葉、鍵、ベッド柵等〕について研修を深めたい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、常に開放しており、外に出たい方に於ては、一緒に散歩したりしている。朝の玄関の鍵は、利用者により、自主的に開けていただいている。	○	今後も継続していき、利用者の自主性を大事にしていきたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜共に、巡視を行い、利用者の所在を把握し、安全に配慮している。	○	1日の流れの中で、プライバシーを脅かすことなく安全に配慮できている。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の能力に応じて、ハサミ、針の所持を認め一緒に管理するようにしている。	○	一人ひとりの管理能力を、把握し、危険防止に努めていきたい。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	勉強会にて学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に努めている。	○	日々の、ミーティングの中で、知識を学んで積み重ねて生きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全員のスタッフが普通救命講習1を終了している。マニュアルに基づき勉強している。	○	ミーティングで毎回研修しており、最新情報をもとに継続していきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練を行い、また日々避難に対してはスタッフ同士で話しあっている。地域交流会を通し地域の方にもお願いしている。	○	継続し、非難口等を常に確認しながら、最善策を検討していきたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	転倒、健康状態の変化、集団生活による感染の可能性等を、家族会、面会時に話し、理解していただきながら、ゆったり生活できるように努めている。	○	継続して、家族と共に、利用者を支えていきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェック、食事、水分量のチェック、活気等からいつもと違うときは、協力病院、主治医と連携し重症化しないように努めている。	○	継続して行きたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	日々の申し送りやミーティングにて確認しており、変更時は、申し送り簿、口頭と両方にて確認しながら、症状の変化の確認に努めている。	○	継続していきたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	十分な水分、繊維性の食品の摂取、腹部マッサージ、散歩をするように心掛けています。便の性状を確認しながら、むやみに薬に頼らないようにこころがけている。	○	便秘による影響を考え、主治医とも相談していく。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後一人で出来る方は声掛けを行い、出来ない方には、誘導して歯磨き、義歯洗浄介助がいの介助を行っています。必要に応じ歯科医の往診を受けている。	○	継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分量を毎日チェックし不足している方、飲み込みの悪い方は、代替えの物を準備して確保出来るように支援している。	○	継続しながら、代替の食品(ゼリー、プリン)等を工夫していきたい。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	日頃より、外出から帰ったときは手洗いうがいを行うようにしており、流行時は、玄関に、張り紙を行い、家族の方にも協力をお願いしております。感染症に対する予防の新しい対策が、協力病院や行政から送られてくるのを、皆で勉強している。	○	今後も継続して、勉強し感染症予防につとめていきたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	布巾、まな板の消毒、食材は新鮮な物を選び、加熱する様にし、調理に携わる者は、専用のエプロンを使用し手洗いの励行に努めている。	○	継続して清潔に努めたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には季節の花を植え、建物の周囲には、木を植え親しみやすくまた季節感を味わえるように工夫している。	○	玄関先に、季節の花が絶えないように継続していきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	必要な箇所にはカーテンをし、テーブルには鉢や生花、手づくりの花等を飾り、壁は、落ち着いた色になるように、配置している。	○	生活の場としての空間をさり気無いものとして、落ちていた、居心地の良いものとした。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	皆で一緒にくつろぎ談笑するテレビの前と、一人でゆったり出来るようにと、2箇所ソファを置き寛げるように工夫している。	○	少人数でお茶を囲めるようなテーブルの配置、和室の利用を考えていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族、本人と相談し使いやすい配置、使い慣れた物を持参していただき、本人が居心地良く暮らせるように工夫している。	○	季節感を感じる部屋づくりを考えたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	定期的に換気を行い、温度においても寒暖計等も参考にしながら、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	○	フローア、居室、換気を怠る事のないように、外から入って来た時、不快な気持ちにさせないように努めていきたい。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリー設計になっており、出来るだけ自立した生活が出来るように工夫している。	○	利用者の方が、使いやすいように意見を聞きながら工夫していきたい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	それぞれ、個性のある居室の空間創りに努めている。	○	利用者、喜怒哀楽を共に味わい、自立した生活が、より長くあるように支援していきたい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	施設の庭に遊歩道を設け車椅子の方でも散策できるようにしており、季節にあわせた花を植えたり畑には、野菜を植え入居者様と一緒に収穫の喜びを共有している。	○	外に出る機会を増やしていきたい。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

運営推進会議の活用により、地域の行事への参加も増え、ホームにおいても家族も含めた地域との交流活動も積極的に行って来ました。家族会、誕生会の充実やボランティアの訪問も更に増えるように、地域行政や関係機関に働きかけて行きたいと思っています。また利用者の方々がホームの庭にて花見をしたり、日光浴、茶話会をしたりと日々充実して過ごして頂けるようにスタッフも努めています。桜島を望む庭の一角で、菜園を作り、季節の新鮮な野菜と一緒に収穫したり生きがいのある生活が送れるように努めています。